




2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 長野県 】

学校名【 池田町立高瀬中学校 】

| | |
|--------------------|---|
| 1 実践テーマ | I・II・ III ・IV・V（複数選択可） |
| 2 実施対象者 （学年・人数） | <ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒 221名、教職員 30名 ・保護者及び地域の方 20名程度 |
| 3 展開の形式 | <p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名（道徳・総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名（ダイバーシティセミナー） ② その他（ ） |
| 4 目標 （ねらい） | <p>・パラリンピックやパラスポーツを題材に、障がい者当事者からリアルな日常の話を聞き、学び、知ることで、生徒一人ひとりが共生社会の実現に向けた基礎的な考えを身につける。</p> |
| 5 取組内容 | <p>(1) 第1回ダイバーシティセミナー（あすチャレ！ジュニアアカデミー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラ・パワーリフティング選手の馬島誠さんをお迎えし、パラリンピックやパラスポーツを題材にした教育プログラムを実施。  <ul style="list-style-type: none"> ・希望者によるボッチャ体験とブラインドサッカー体験を実施。  <p>(2) 第2回ダイバーシティセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者野球選手の小林和久さんと水越大暉さんをお迎えし、生徒参加型のトークショーを実施。  |

| | |
|----------------------------|--|
| <p>6 主な成果</p> | <p>(1) 生徒が共生社会の実現に向けた考えをもった</p> <ul style="list-style-type: none"> • 今までも人権学習で障がい者について学んできたけれど、本人の口から「すれ違った後に障がいのことをコソコソ言われて辛かった」などと聞くと、私たちには何ができるのかとても考えさせられました。“誰もが暮らしやすい社会にしていく”という気持ちで常に生活していきたいと思いました。(3年生徒) • やっぱりああやって何か一つのことにも真剣に、そして楽しんでやられているということは、とても素敵なことだなと思いました。僕も、そのような感じで勉強を頑張りたいです。また、「中学生や高校生ぐらいの人に、なんだあいつみたいなことを言われて傷ついた」「一回そうやって言われると、会う人みんなが自分の障がいについてコソコソ言っているんじゃないかと思ってしまう」などと話してくれました。僕はここが一番心に残り、自分でも「悪口言われてのるかな」と少し気になってしまうところがあり、共感できました。(3年生徒) <p>(2) パラスポーツが身近になった</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本事業でボッチャを3組購入させていただき、セミナーでの体験後、休み時間にはボッチャで遊ぶ学級もあった。2学年はボッチャを体験した生徒が中心になって、参観日に保護者とボッチャ体験を実施した。保護者からは「すごく楽しかった」「またやりたい」と感想が寄せられ、大変好評だった。この活動は「ゆるスポ」の会員生徒で継続していく。 |
| <p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 主催を町教育委員会にすることで、積極的に地域の方に参加を促すことができた。また、会場を町総合体育館にし、セミナーの進行等を町教育委員会が担うことで、学校職員は運営に携わることなく参加することができた。 • 第1回セミナーは二部制にして、一部は全校でセミナーを行い、二部は希望者でボッチャとブラインドサッカーの体験を行った。人数を少なくしたことで、充実した体験となった。 • 第2回セミナーは、講師を推薦した校長が自らファシリテーターになることで、講師のリアルな体験や気持ちを引き出し、生徒に伝えることができた。 |
| <p>8主な課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 地域の住民に呼びかけたが、思ったより参加者が少なかった。共生社会の実現に向けて、地域の大人が育っていく必要がある。せっきくの機会を、地域にさらにアピールしたい。 |
| <p>9来年度以降の実施予定</p> | <ul style="list-style-type: none"> • パラスポーツやパラアスリートが身近な存在になったので、パラピンピックの結果や様子に注視して、生徒の学習に生かしていく。 • 「ゆるスポ」の会員生徒を中心に、ボッチャのチームをつくり、大会に出場する。会員生徒の保護者にも呼びかける。 • 来年度もチャンスを見計らってダイバーシティセミナーを開催したい。 |